学校番号	213

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　高校日本史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・17 世紀半ばの幕府政治の安定期から現代の日本に至るまでの歴史の流れを理解できるように、基本的な歴史事象を中心に学習していきます。
・授業は教科書だけでなく、プリント・画像・実物教材・映像を使って行い、歴史に興味を持てるように工夫していきます。
・基本的な事項を確認するために、授業において、定期的に小テストを行います。

2　学習の到達目標

・さまざまな資料の活用を通して 17 世紀半ばの幕府政治の安定期から現代の日本に至るまでの歴史の流れを理解することができる。
・日本の近世及び近現代史におけるさまざまな歴史事象を、同時代の国際社会の動向と結びつけて考えることによって、歴史的なものの見方や考え方を身につけることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世から現代までの日本の歴史に対して関心を持ち、追究しようとする。また、授業で示す諸資料や図を積極的に見て知識を深めようとしている。	世界の歴史との関わりの中で、近世から現代までの歴史の流れをとらえ、考察して、その成果を適切に表現する。	近世から現代までに関する諸資料を読み取り、効果的に活用して、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。	近世から現代までに関する基本的な事柄を同時代の世界の歴史事象と関連づけて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅲ部　近世	第7章　幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化 第8章　幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 江戸幕府の衰退 3. 化政文化	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:幕藩体制の安定から三大改革にいたるまでの幕府政治の動きと、それらの時代の社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:幕藩体制の安定から三大改革にいたるまで幕府政治の動きと、それらの時代の社会や文化の特色について多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:幕藩体制の安定から三大改革にいたるまでの幕府政治の動きと、それらの時代の社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:幕藩体制の安定から三大改革にいたるまでの幕府政治の動きと、それらの時代の社会や文化の特色について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
	第Ⅳ編　近代・現代	第9章 1. 開国と幕府の滅亡 2. 明治維新	 ○	○ 	○ 	 ○	a:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程、また、第1次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。	ワークシート 定期考査

2学期	第Ⅳ編　近代・現代	3. 立憲国家の成立 4・大陸政策の展開 5. 近代産業の発展 6. 近代の文化 第10章　二つの世界大戦とアジア 1. 第一次大戦と日本 2. 政党政治と大衆文化 3. 恐慌の時代 4. 軍部の台頭 5. 第二次世界大戦	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	b:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程、また、第1次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程、また、第1次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色に関する諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程、また、第1次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

3学期	第Ⅳ編 近代・現代	第11章 現代の世界と日本 1.占領下の改革と主権の回復 2. 55年体制と高度経済成長 3. 現代の情勢	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○	a:占領統治下における日本の政治・経済の動向や独立後の日本の政治と経済大国へといたる過程、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:占領統治下における日本の政治・経済の動向や独立後の日本の政治と経済大国へといたる過程、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化について多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:占領統治下における日本の政治・経済の動向や独立後の日本の政治と経済大国へといたる過程、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化に関する諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:占領統治下における日本の政治・経済の動向や独立後の日本の政治と経済大国へといたる過程、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象、社会や人びとの生活の変化、これらの時代の文化を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。